

## 一般質問

議員は、毎年3月、6月、9月、12月に開く定例会市議会で、市政全般に対する質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。今定例会では2月22日から3日間、15人の議員が一般質問を一問一答方式で行いました。



一問一答方式とは、議員席前の質問席から、執行部に対面して行います。質問の制限時間は40分(答弁は含まない)で、通告した順番の件名ごとに、1回目は総ざらい質問・答弁、2回目から要旨ごとの一問一答で、制限時間内に何回でも質問ができます。

# そとがききたい



▲色とりどりの花が並ぶ植木市

## 彩湖・道満にアクセスのサイクリングロードを

中名生 隆 議員

**議員** 東京外環自動車道や荒川土手を利用して、彩湖・道満グリーンパークにアクセスするサイクリングロードの整備を、環境や安全の観点から質問。また、自転車活用のまちづくりとして、市内地域の魅力や、新しい観光普及サイクルツアーロード整備もするべきではないか。

**都市整備部長** 東京外環自動車道はサイクリングロードのネットワーク形成や、走りやすい走行空間の確保ができると思われる。自転車・歩行者通行帯の分離を国へ要望していきたい。荒川土手は緊急用河川敷道路整備により、彩湖・道満グリーンパークに安心



戸田市周遊サイクリングロードでまちづくり

し、安全にアクセスできるものとする。サイクルツアーロードは、自転車道等がある程度整備されたら調査検討をしたい。

### 自転車の安全対策は

**議員** 事故防止のため、自

転車賠償責任プランや運転免許等、自転車走行空間の整備などについて、市の考え方を伺う。

**市民生活部長** 今後、市の共済制度は、どのような形がよいかを、運営形態も含めて検討する。子ども自転車運転免許は、関係機関と連携して積極的に実施していく。

**都市整備部長** 自転車走行空間の整備は、歩道整備事業や都市計画事業の中で進めている。

### 大規模災害対策は

**議員** 住基カード利用による避難者安否確認システムと、災害用マンホールトイレについて伺う。

**総務部長** 住基カード利用安否確認とICタグ利用をあわせて市民課と調整し、導入に向けて検討していく。災害用マンホールトイレについて条件を整えば、管理が簡単であり、汲み取り問題も解消される利点もあり、導入に向けて検討していく。

## 一般質問

## 中小企業、商店対策に光を

中島 浩一 議員

**議員** 市内優良企業の移転が相次いで発表され、税減収のほか、地域消費など経済への影響が大きい。企業誘致を進める県との連携を強化し、市内の既存産業も考慮した上で、企業集積などを含めた誘致策が必要である。税の返金や新規雇用補助などの優遇策、業種を絞る場合は外部の専門家も必要だが、本市の戦略はどうか。

**市民生活部長** 都市型産業誘致も視野に入れ、平成18年度内に企業集積基本計画を策定する。

### コミュニティビジネスによる空き店舗対策と既存商店活性化

**議員** 既存商店への支援事業を見直し、高齢化社会に

対応する宅配、子育て支援や学童、世代間交流などのできるコミュニティビジネスの環境整備も含めて、新しく商業振興を行うべきではないか。

**市民生活部長** 空き店舗活用による推進事業計画を策定し、モデル事業を実施する。

### 3駅前活性化で商業振興を

**議員** 駅中心のまちづくりは、市民ニーズや市内商店の連携で取り組むべきだ。特に、未整備となっている戸田公園駅東口開発には、ビジョンを持つてほしい。



▲未整備な駅前の開発を

**都市整備部長** 駅前商業系用途地域と位置づける。都市計画道路の検証にあわせて地元との関わりに入る。

### 子どもを守り、自信と勇気を与えるCAPプログラム導入

**議員** 子どもへのあらゆる暴力を許さない社会をつくるために、家庭と学校、地域の連携を総合的に体系づけられた、具体的なロールプレイによる人権教育システムを導入できないか。

**教育部長** 予算化等の課題がある。研修等様々な局面でCAPの精神を具現化する。



▲夏の夜空を彩る大イベント戸田橋花火大会

**議員** ①戸田橋花火大会の名称の今後の考え方。そして、広報ではマスコミなどへのアピールを工夫しては

②本市と板橋区の花火大会の日程をずらすなどすれば、2度楽しめると思うがいかがか。③観覧席の有料化も含め、検討するときにきているのではないか。

### 電子入札方式の進捗状況は

**議員** 県との連携のもとに進められてきている新方式の、現在までの進捗状況はどのようなになっているか。

**市民生活部長** ①長年、戸田橋花火大会として愛されている名称については、本市のイメージアップ等を考慮して検討していきたい。広報については種々行っている。しかし、新聞等によっては掲載されなかったり、板橋の大会と同一にされたりなど懸念もあり、情報漏れのないよう周知していきたい。②日程については、同時開催することで、よりよい花火大会になるよう板橋区側と協議し、決定

**総務部長** 電子入札については、透明性や競争性を向上させ、応札者の利便性、事務の簡素化、効率化を図る観点から、平成15年度から県や他自治体と開発に取り組み、昨年10月にシステムが稼働した。本市では事前説明会などを開催。入札参加の条件の電子証明書の取得も勧める。昨年12月に初めて電子入札を執行した。今後取得状況を見ながら拡充していきたい。

## 戸田橋花火大会のあり方を工夫しては

奥田 実 議員